令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立日野高等学校
校長 内仲 弘

評 価 日	令和 3 年 3 月 2 日 (火)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会の中で生き抜く力の育成」について ・「人とのかかわり」「学習活動の発信」「よかったと思う実感」が自尊感情を育む。校外との調整は難しいところがあるが、教育効果は高く、継続を望む。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究において、福祉施設との連携（飾付・廃材利用）は、地域連携及び障がい者福祉理解の面より評価できる。 <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を活用した学習において、SDG s の視点を取り入れるよう要望。 ・学校魅力化の一つとしてオシドリの活用を要望。 ・福祉施設と連携したeスポーツへの取組推進を要望。 ・小中学校との連携した学習の継続を要望。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自身から発信することは苦手意識を持っているが、年次を重ね行くについて成果が出てきている。学校教育活動の中で生徒が活躍する場を様々設定し、主体的な学習を今後も展開していく。 ・「地域を知り、地域に貢献する行動力」の育成・指導の充実を図り教育活動を推進する。 ・様々な教育活動の中で「授業の質的改善」、「社会性の育成」、「地域連携」の充実を図り、学力の伸長及び豊かな人間性を育む教育活動を推進する。また生徒による学校と地域の新しい価値の創造「HiNOバージョン」を推進し、生徒の成長と誇りの醸成を図る。